



A 表

(裏面)

北海道礼文高等学校

全日制課程

学科

普通科

教科	学年		1 年	2 年	3 年	計
	科目・標準単位数	類型				
理数	理数探究基礎	1				
	理数探究	2~5				
商業	簿記	2~4		4		0~4
	情報処理	2~4	2			0~2
	ソフトウェア活用	2~4			3	0~3
	総合実践	2~4			2	0~2
水産	○地域水産基礎	2			2	0~2
家庭	生活産業基礎	2~4	2			0~2
	フードデザイン	2~8			3	0~3
	食文化	1~2			2	0~2
○総合	○フィールドワーク	2			2	0~2
各学科に共通する各教科・科目の計			28	20~28	21~28	69~84
主として専門学科において開設される各教科・科目の計			0	0~8	0~7	0~15
学校設定教科に関する科目の計			0	0	0~2	0~2
総合的な探究の時間 (名称)		3~6	1	1	1	3
合計			29	29	29	37
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1	3
教育課程に係るその他の事項						
卒業までに修得させる単位数			87 単位		卒業に必要な履修と修得の単位数	1 分離している ○ 2 分離していない
学期の区分			1 3学期制 ○ 2 2学期制	学期の区分ごとの単位数修得の認定		1 実施している ○ 2 実施していない
1 単位時間の弾力化			○ 1 標準の50分を1単位時間として実施する。 2 標準以外の単位時間を学校が設定して実施する。 [1日の授業時間を( )分×( )時間で実施] 3 いくつかの単位時間を組み合わせて実施する。 [1週のうち( )日間を、1日当たり( )分×( )時間で実施]と、[1週のうち( )日間を、1日当たり( )分×( )時間で実施]を組み合わせて実施する。 4 その他( )			
学校外における学修の単位認定			○ 1 実施している (①・②・③・④・⑤・⑥・⑦・⑧) 2 実施していない			
総合的な探究の時間の実施方法			○ 1 週時程に位置付けて実施する。 2 週時程に位置付けず、年間を通して又は特定の期間に実施する。			
備考			○ 3年次の「総合実践」は2年次の「簿記」からの継続して履修するものとし、3年次のみ履修はできない。 ○ 3年次の「ソフトウェア活用」は2年次の「情報処理」から継続して履修するものとし、3年次のみ履修はできない。 ○ 2年次、「古典探究」または「情報処理」と「生活産業基礎」の組の選択とする。 ○ 3年次、「政治・経済」または「礼文の自然と観光」から1つ、「総合実践」または「フィールドワーク」から1つの組あるいは「化学」の選択とする。			

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。